

令和6年7月16日(火)

北海道中札内高等養護学校 校長室より

生徒の成長を感じる寄宿舎サマフェス

7月11日、寄宿舎のサマフェスが開催されました。第1部の「リクエスト夕食」、第2部の「縁日」。

生徒たちはとても楽しみにしていて、夕食のメニューも詳細に教えてくれるほどでした。寄宿舎では、毎日の生活の中で自分のことを自分で取り組めるようになる力のほかに、人とのかかわりやコミュニケーションも学んでいます。毎日の何気ないやりとりから、相手の気持ちを考えながら行動できる力が育っていることを感じています。

今回のサマフェスでも、「一緒に遊ぼう」と友達を誘う人、消極的な友達を誘う人、頑張ってる友達にねぎらいの言葉をかける人、様々な生徒たちの姿を見て、「成長したなー」とうれしくなっていました。

家庭から離れて生活することの不安や心細さはあったのだと思いますが、毎日繰り返し取り組むことの偉大さ…、生徒の成長から感じています。



第1部の夕食。塩焼きそば、ポテト、から揚げ、塩キュウリ「お祭りメニューだ!」



舎友会執行部のみんなが準備がんばりました



射的「安全にね」



輪投げ「簡単そうに見えて…」



型抜き「夢中になります」

卒業生から学ぶことが多いです

先日、ある卒業生から、在学中のことと近況を伺うことができました。「学校にいた頃は先生に迷惑をたくさんかけた」という彼は、「今では仕事を順調に頑張れる自分」を誇らしく語ってくれました。新人さんを指導する役割も任されることがあるということで、仕事への自信につながっているようでした。

職場には、信じてくれる上司がいて、仕事を任せてくれ、評価してくれる同僚がいる…、そんな関係性の中で楽しく仕事をしているようでした。これまで成長し続けた彼の一言一言から、学校でどのように生徒と向き合うか、ということについても教えていただいたように感じました。

